

令和3年度国民健康保険事業 特別会計決算について

令和3年度国民健康保険事業特別会計決算の概況

歳入合計 182億60百万円	歳出合計 182億20百万円
内訳	内訳
↓ 収支差引 40百万円 (→次年度(R4)へ繰越し)	
国民健康保険料 32億11百万円 17.6%	納付金 42億18百万円 23.1%
繰入金 13億67百万円 7.5% (うち基金繰入 9百万円 0.05%)	保健事業費 1億96百万円 1.1%
府支出金 136億36百万円 74.7%	保険給付費 135億50百万円 74.4%
その他収入 46百万円 0.2%	その他支出 2億56百万円 1.4%

【歳入(主要なもの)】 歳入合計 182億60百万円 (対前年度5億76百万円増加)

○ 国民健康保険料 R3 32億11百万円 (R2 32億84百万円)

国民健康保険事業の費用に充てるため、国保加入世帯の世帯主が市町村に納付する保険料

○ 繰入金 R3 13億67百万円 (R2 13億59百万円)

一般会計から国民健康保険特別会計に繰り入れを行っている一般会計繰入金と基金の取崩しである基金繰入金により構成

○ 府支出金 R3 136億36百万円 (R2 129億85百万円)

京都府が市町村に対して、国民健康保険事業に要する費用の一部を負担する負担金及び交付金

※保険給付に必要な費用を賄う普通交付金と、市町村の状況等に応じて調整を行う特別交付金がある

○ 繰越金 R3 0円 (R2 0円)

前年度決算の収支黒字分を当該年度に繰り越したもの

【歳出(主要なもの)】 歳出合計 182億20百万円 (対前年度5億36百万円増加)

○ 納付金 R3 42億18百万円 (R2 44億59百万円)

制度改革により、京都府が市町村への交付金等に充てるため、市町村の医療費水準や所得水準等に応じて徴収する納付金

○ 保健事業費 R3 1億96百万円 (R2 1億88百万円)

被保険者の健康の増進等のために行う保健事業(特定健康診査・人間ドックなど)に要する費用

○ 保険給付費 R3 135億50百万円 (R2 127億62百万円)

被保険者が保険医療機関で診療を受けた際などに支払う一部自己負担金(3割等)を除いた費用を、保険者が給付(保険医療機関に支払う)するものなど

※高額療養費のほか、出産育児一時金や葬祭費なども含まれる

○ 基金積立金 R3 0.02百万円 (R2 0.04百万円)

基金への積み立てに要する費用

※R3は基金運用収入のみ

令和3年度国民健康保険事業特別会計決算の内訳

(単位:千円)

項目	歳 入					
	R2	R3				R4
	決算	当初予算 A	運協での 決算見込 B	決算 C	差引 C - B	当初予算
1. 国民健康保険料	3,284,194	3,160,143	3,127,445	3,210,839	83,394	3,346,423
現年分	3,080,407	3,077,918	2,976,199	3,052,308	76,109	3,201,732
滞納繰越分	203,787	82,225	151,246	158,531	7,285	144,691
2. 一部負担金	0	2	0	0	0	2
3. 使用料・手数料	1,491	1,721	1,699	1,478	△ 221	1,548
4. 国庫支出金	4,727	0	0	0	0	0
5. 府支出金	12,985,268	12,774,467	13,847,554	13,635,564	△ 211,990	13,274,754
普通交付金	12,625,816	12,578,596	13,588,062	13,378,986	△ 209,076	13,052,348
特別交付金	359,452	195,871	259,492	256,578	△ 2,914	222,406
6. 財産収入	35	133	5	19	14	53
7. 繰入金	1,358,786	1,492,619	1,370,449	1,367,188	△ 3,261	1,561,334
基盤安定繰入金	1,058,780	1,032,699	1,092,033	1,092,034	1	1,092,477
一般会計繰入金	266,483	300,980	267,834	266,260	△ 1,574	367,799
基金繰入金	33,523	158,940	10,582	8,894	△ 1,688	101,058
うち財源対策分(※)	24,132	148,000	860	0	△ 860	90,805
8. 繰越金	0	0	0	0	0	0
9. その他の収入	49,171	37,915	29,595	44,971	15,376	45,886
歳入合計	17,683,672	17,467,000	18,376,747	18,260,059	△ 116,688	18,230,000

※財源対策…收支の均衡などを目的として歳入の追加を行うもの

(参考) 標準保険料率と宇治市保険料率

宇治市の保険料率は、京都府が示す標準保険料率とすることを基本としている。

令和3年度 保険料率

(単位:%, 円)

	医療分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割
宇治市	7.29	25,500	17,100	2.89	9,700	6,500	2.87	11,800	5,900
標準保険料率	7.29	25,552	17,138	2.89	9,777	6,558	2.87	11,847	5,908

(単位:千円)

項目	歳 出					
	R2	R3				R4
	決算	当初予算 A	運協での 決算見込 B	決算 C	差引 C - B	当初予算
1. 総務費	255,036	276,158	248,982	242,951	△ 6,031	244,071
2. 保険給付費	12,762,054	12,710,321	13,698,464	13,549,716	△ 148,748	13,170,222
普通交付金対象分	12,656,531	12,578,596	13,586,405	13,431,579	△ 154,826	13,052,348
その他	105,523	131,725	112,059	118,137	6,078	117,874
3. 国保事業費納付金	4,459,423	4,217,791	4,217,791	4,218,131	340	4,526,143
4. 保健事業費	188,412	206,510	200,986	195,707	△ 5,279	230,152
5. 基金積立金	35	133	5	19	14	53
6. 公債費	0	3,500	0	0	0	3,500
7. 諸支出金	18,712	35,587	10,519	13,227	2,708	37,859
8. 予備費	0	17,000	0	0	0	18,000
歳 出 合 計	17,683,672	17,467,000	18,376,747	18,219,751	△ 156,996	18,230,000

(単位:千円)

項目	R2	R3				R4
	決算	当初予算 A	運協での 決算見込 B	決算 C	差引 C - B	当初予算
歳入総額	17,683,672	17,467,000	18,376,747	18,260,059	△ 116,688	18,230,000
歳出総額	17,683,672	17,467,000	18,376,747	18,219,751	△ 156,996	18,230,000
収支差引	0	0	0	40,308	40,308	0

<令和3年度決算の概要(決算見込との比較)>

収支差引 40,308千円

- ・ 保険給付費は受診控えの反動により、当初予算よりも約9億円増加すると見込んだが、決算では見込から約1.5億円の減少となった。それに伴い、歳入における府支出金も約9億円の増加を見込んだが、決算では約2.1億円の減少となった。
- ・ 保険料収入については、オミクロン株による感染拡大の影響等を考慮し慎重に見込んだが、実際は保険料収入に与える影響は限定的であったこと、また令和2年度に税機構へ移管したことなどにより、決算見込より約8,300万円の増加となった。
- ・ 上記のことから、約100万円で見込んでいた基金繰入を行わなくても、収支差引は約4,000万円となった。

<収支差引 40,308千円について>

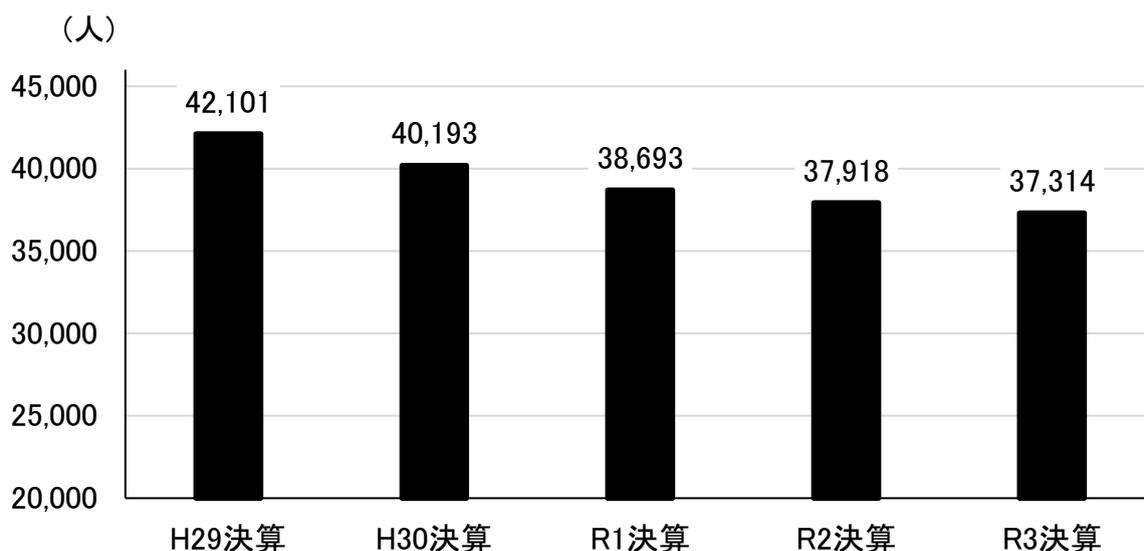
- ・ 令和4年度へ繰越し、国庫返還を除き基金へ積立

令和3年度国民健康保険事業特別会計決算 参考資料

○ 被保険者数の推移

被保険者数は、社保加入や後期高齢者医療制度への移行等に伴い減少傾向であるが、R3年度においても引き続き減少傾向が続いている。

<年度平均の推移>



	H29決算	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算
被保険者数	42,101人	40,193人	38,693人	37,918人	37,314人
前年度増減	△2,277	△1,908	△1,500	△775	△604

<月別の推移>

	R3年度	R2年度	差引
4月	38,059人	38,297人	△ 238
5月	37,956人	38,226人	△ 270
6月	37,741人	38,117人	△ 376
7月	37,670人	38,094人	△ 424
8月	37,501人	37,994人	△ 493
9月	37,443人	37,958人	△ 515
10月	37,340人	37,916人	△ 576
11月	37,163人	37,827人	△ 664
12月	37,041人	37,843人	△ 802
1月	36,830人	37,652人	△ 822
2月	36,636人	37,600人	△ 964
3月	36,383人	37,493人	△ 1,110

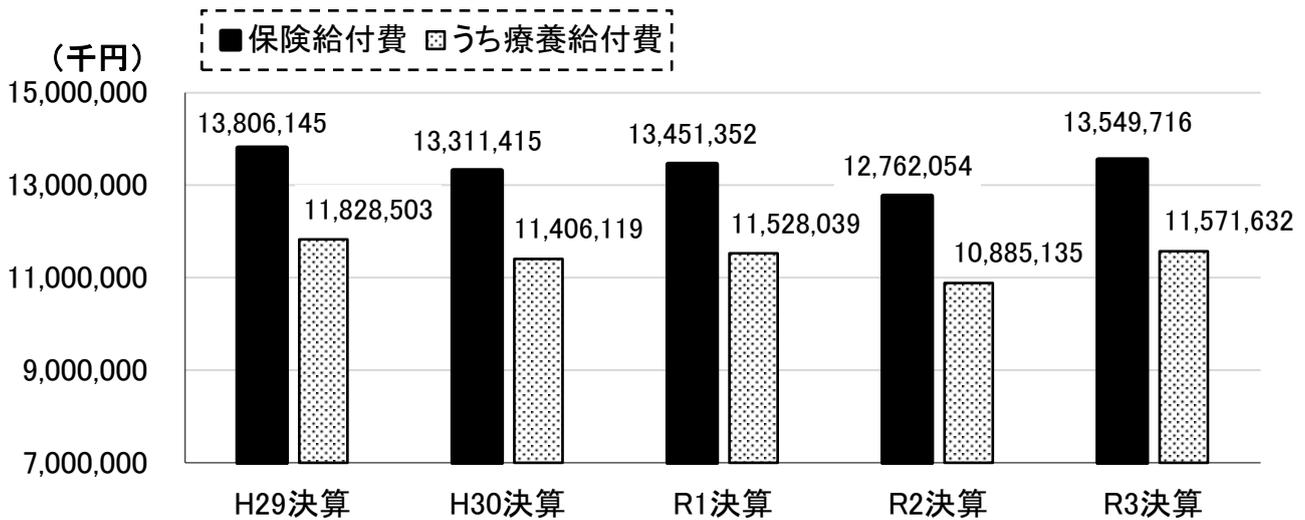
※各月末日時点

○ 保険給付費の状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等の要因により、保険給付費及び1人あたり医療費がともに減少したが、令和3年度は受診控えの反動により、大幅に増加となった。

新型コロナウイルス感染症による影響がある中でも、受診行動が感染拡大前の水準に戻り始めている傾向が見られるため、今後は減少傾向にある被保険者数の推移も含めて、保険給付費及び1人あたり医療費の推移を見守る必要がある。

<全体の推移>



(単位:千円)

	H29決算	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算
保険給付費	13,806,145	13,311,415	13,451,352	12,762,054	13,549,716
うち療養給付費	11,828,503	11,406,119	11,528,039	10,885,135	11,571,632

<療養給付費の月別推移>

(単位:千円)

	R3年度	R2年度	差引
3月診療分	1,014,199	936,136	78,063
4月診療分	987,905	861,730	126,175
5月診療分	931,014	789,628	141,386
6月診療分	988,598	931,329	57,269
7月診療分	966,504	934,274	32,230
8月診療分	963,709	894,664	69,045
9月診療分	948,010	932,272	15,738
10月診療分	1,008,396	999,751	8,645
11月診療分	1,000,914	889,865	111,049
12月診療分	988,992	943,389	45,603
1月診療分	887,453	890,384	△ 2,931
2月診療分	889,161	885,277	3,884
戻入等	△ 3,223	△ 3,564	341
計	11,571,632	10,885,135	686,497

<国の概算医療費(※)の状況>

※厚生労働省が公表しているこの数値は速報値であり、労災・全額自費等の費用を含まないことから概算医療費と呼称
 これは、医療機関などを受診し傷病の治療に要した費用全体の推計値である国民医療費の約98%に相当

(単位:兆円)

年度	合計	伸び率	診療費計	医科			調剤	訪問看護療養
				入院	入院外	歯科		
H29	42.2	2.3%	34.3	17.0	14.4	2.9	7.7	0.22
H30	42.6	0.8%	34.8	17.3	14.6	3.0	7.5	0.26
R1	43.6	2.4%	35.5	17.6	14.9	3.0	7.7	0.30
R2	42.2	△3.2%	34.3	17.1	14.2	3.0	7.5	0.36
R3	44.2	4.6%	36.0	17.6	15.3	3.1	7.8	0.43

令和3年度の国の概算医療費は44.2兆円となり、前年度に比べて約2.0兆円の増加、伸び率では4.6%となっている。

・医科(入院・入院外)の診療費は、前年度に比べ約1.6兆円の増加となっている。

<宇治市の被保険者1人あたり医療費の状況>

(単位:円)

年度	合計	伸び率	診療費計	医科			調剤	その他
				入院	入院外	歯科		
H29	386,286	2.4%	308,355	144,105	137,543	26,707	61,691	16,240
H30	390,081	1.0%	312,447	147,171	137,911	27,365	61,178	16,456
R1	407,469	4.5%	324,950	154,999	141,896	28,055	65,587	16,932
R2	391,993	△3.8%	308,232	147,243	134,529	26,460	66,629	17,132
R3	422,492	7.8%	335,269	160,472	145,776	29,021	68,864	18,359

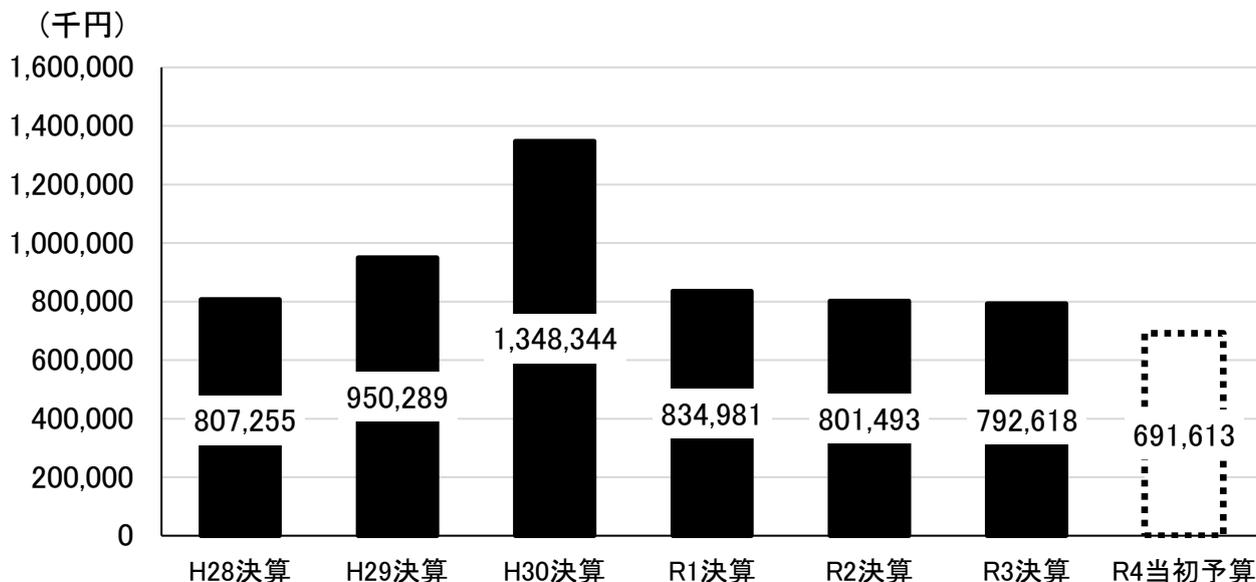
※「その他」は、食事療養、訪問看護、療養費等の合計

令和3年度の宇治市の1人あたり医療費は422,492円となり、前年度に比べて約3万円の増加、伸び率では7.8%となっている。

・医科(入院・入院外)の診療費は、前年度に比べ約2.5万円の増加となっている。

⇒国・宇治市ともに、医科(入院・入院外)の診療費の増加が医療費増加の主な要因となっている。

○ 財政調整基金の残高状況
 <年度末残高の推移>



(単位:千円)

年度	年度末残高	繰入(取崩し)			積立		
		保健事業等	財源対策		運用収入	繰越金等	
H28決算	807,255	378,796	3,796	375,000	208,897	830	208,067
H29決算	950,289	273,001	5,001	268,000	416,035	477	415,558
H30決算	1,348,344	226,353	5,561	220,792	624,408	565	623,843
R1決算	834,981	514,063	9,031	505,032	700	700	0
R2決算	801,493	33,523	9,391	24,132	35	35	0
R3決算	792,618	8,894	8,894	0	19	19	0
R4当初予算	691,613	101,058	10,253	90,805	53	53	0

<今後の基金のあり方>

平成30年度からの国民健康保険制度改革においては、京都府に財政安定化基金が設置されているものの、市町村においても、引き続き財政調整基金を保有し、国保財政基盤の安定化のために活用することとされている。

◎令和2年度運営協議会で確認した内容

- ・基本額の目安 : 当該年度保険料の1期分相当
- ・基本の活用 : ①収支不足の財源対策、②保健事業の振興に資する費用
 ~宇治市国民健康保険事業財政調整基金条例 第1条~

(宇治市国民健康保険事業の健全財政の維持及び保健事業の振興に資するため、
 宇治市国民健康保険事業財政調整基金を設置する。)